

第Ⅴ章 計画の推進体制

1. 計画推進体制とスケジュール

(1) 計画の推進体制と計画の評価方法

- 計画の推進にあたっては、自転車利用者だけでなく、市民・社会全体で自転車活用推進に取り組むという視点から、事業や目標の達成状況について確認を行います。
- 上記の視点を踏まえて「豊橋市自転車活用推進委員会」では、定期的に事業の実施状況や目標の達成状況についてのフォローアップと見直しを行うこととします。
- 計画期間の中間年にあたる令和7年に、必要に応じて計画の見直しを行うものとし、取組の実施効果の確認を行うことで、継続的改善を図ります。



(2) 計画全体のスケジュール

- 本計画は、令和3年度から令和12年度までの10か年での実現を目指し推進しますが、自転車を取り巻く社会情勢は日々変化しており、各時点での状況などを踏まえた取組の実施、計画全体の見直しが求められる可能性があります。
- そのため、必要に応じて【前期】の5か年での見直し及び次期計画に向けた改定を想定するものとし、各期での評価、改善を進めるものとしします。
- また、取組の評価については、毎年の進捗状況を「豊橋市自転車活用推進委員会」において報告し、適宜、取組を改善、実行を図るものとしします。

	前回計画 R2	豊橋市自転車活用推進計画 2021-2030										次期計画 R13
		前期					後期					
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
①事業の実施		【前期】での取組を実行（適宜改善）					【後期】での取組を実行（適宜改善）					
②進捗確認	※計画終了	毎年評価を報告					毎年評価を報告					※次期計画開始
③計画の評価		毎年の評価を踏まえ適宜見直し					前期分の見直し	毎年の評価を踏まえ適宜見直し				後期分の見直し
④計画策定							見直し					次期計画の策定

參考資料

(1) 策定の経緯

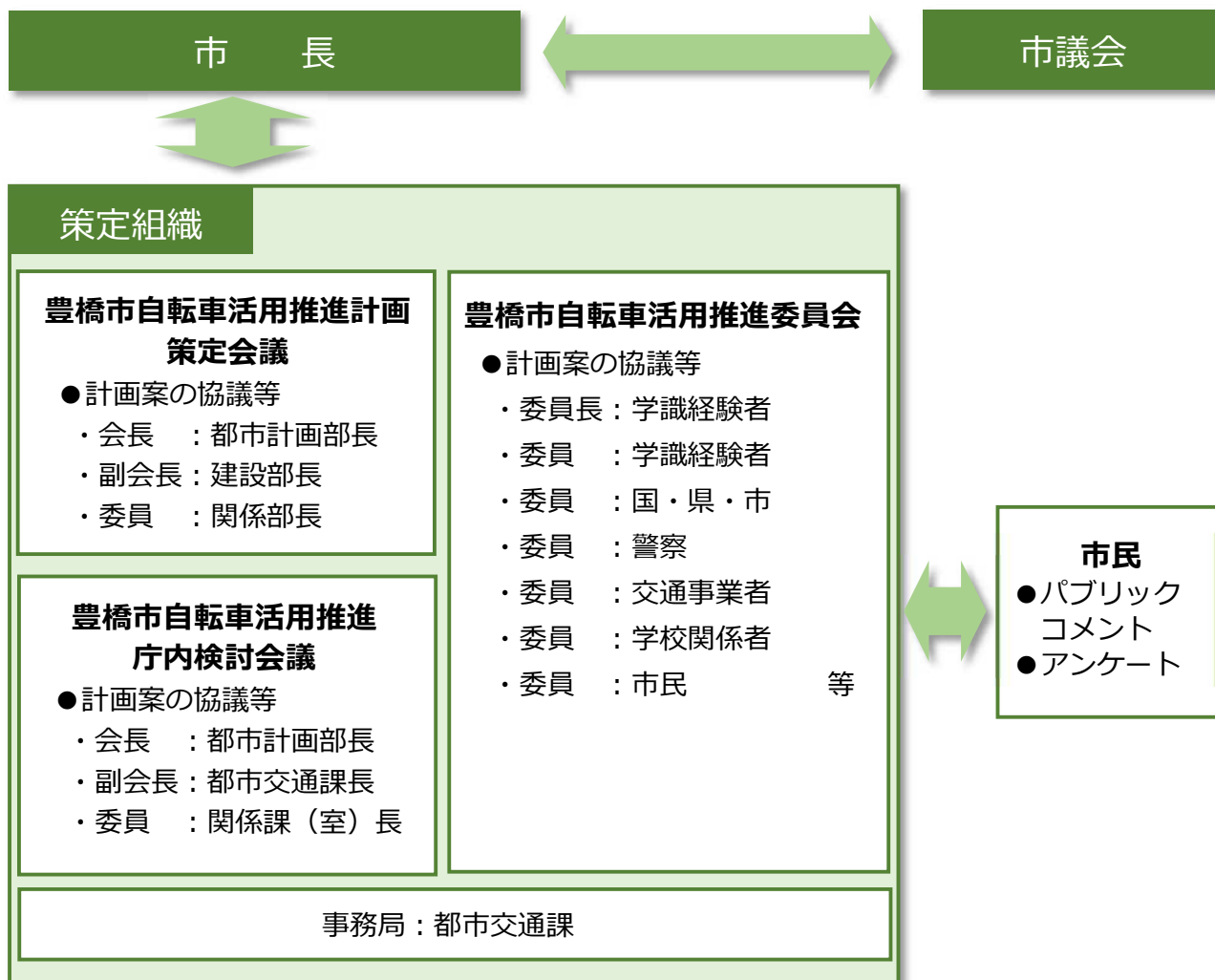
■会議等の開催経緯

計画策定	令和元年度	R1	8.15	第1回 豊橋市自転車活用推進庁内検討会議
			8.23	第1回 豊橋市自転車活用推進委員会
			10.18	自転車に関するアンケート調査
			11.15	第2回 豊橋市自転車活用推進庁内検討会議
			11.27	第2回 豊橋市自転車活用推進委員会
			12.11	第1回 豊橋市自転車活用推進計画策定会議
	R2	2.17	豊橋市議会 建設消防委員会	
	令和2年度	R2	4.13	第1回 豊橋市自転車活用推進庁内検討会議（書面開催）
			8.6	第2回 豊橋市自転車活用推進庁内検討会議
			8.17	第1回 豊橋市自転車活用推進委員会（書面開催）
			9.18	第3回 豊橋市自転車活用推進庁内検討会議
			9.24	第1回 豊橋市自転車活用推進計画策定会議
			10.2	第2回 豊橋市自転車活用推進委員会
			11.9	第4回 豊橋市自転車活用推進庁内検討会議
			11.17	第3回 豊橋市自転車活用推進委員会
			12.2	第2回 豊橋市自転車活用推進計画策定会議
			R3	2.19
	2.3	パブリックコメント		

豊橋市自転車活用推進計画 2021-2030

計画改訂	令和7年度	R7	6.25	自転車に関するアンケート調査
			7.17	第1回 豊橋市自転車活用推進庁内検討会議
			8.5	第1回 豊橋市自転車活用推進委員会
			10.14	第2回 豊橋市自転車活用推進庁内検討会議
			11.10	第2回 豊橋市自転車活用推進委員会
			12.1	第1回 豊橋市自転車活用推進計画策定会議
			R8	1.19

豊橋市自転車活用推進計画 2021-2030（後期計画）



■豊橋市自転車活用推進委員会 委員名簿（令和元年度）

※敬称略

役職	職名等	氏名
委員長	国立大学法人豊橋技術科学大学名誉教授	廣島 康裕
副委員長	公益財団法人自転車駐車場整備センター自転車総合研究所長	古倉 宗治
委員	国立大学法人豊橋技術科学大学准教授	杉木 直
委員	国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所長	五十川 泰史
委員	愛知県東三河建設事務所企画調整監	稲垣 秀高
委員	愛知県豊橋警察署交通課長	志治 正己
委員	豊橋鉄道株式会社鉄道部部長兼運輸営業課長	梅村 仁朗
委員	豊鉄バス株式会社常務取締役営業企画部長	坂本 直也
委員	豊橋商工会議所常務理事	瀧川 雅弘
委員	一般社団法人豊橋観光コンベンション協会常務理事	中村 聡
委員	豊橋市自治連合会理事	小林 一博
委員	豊橋女性団体連絡会	曾田 律子
委員	豊橋自転車競技協会会長	伊藤 雄章
委員	愛知県自転車モーター商協同組合理事長	高野 守夫
委員	東三河南地区公立高等学校長会代表	平松 直哉
委員	私立高等学校代表	河合 伸賢
委員	豊橋市立小中学校長会代表	峠 尚良
委員	豊橋市副市長	有野 充朗
委員	豊橋市建設部長	山本 晋
委員	豊橋市産業部次長	加藤 智久

■豊橋市自転車活用推進委員会 委員名簿（令和2年度）

※敬称略

役職	職名等	氏名
委員長	国立大学法人豊橋技術科学大学准教授	杉木 直
副委員長	公益財団法人自転車駐車場整備センター自転車総合研究所長	古倉 宗治
委員	国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所長	五十川 泰史
委員	愛知県東三河建設事務所企画調整監	渡會 竜二
委員	愛知県豊橋警察署交通課長	本多 幸治
委員	豊橋鉄道株式会社鉄道部部長兼運輸営業課長	梅村 仁朗
委員	豊鉄バス株式会社常務取締役営業企画部長	坂本 直也
委員	豊橋商工会議所常務理事	瀧川 雅弘
委員	一般社団法人豊橋観光コンベンション協会	中村 聡
委員	豊橋市自治連合会理事	丸山 幸雄
委員	豊橋女性団体連絡会	曾田 律子
委員	豊橋自転車競技協会会長	伊藤 雄章
委員	愛知県自転車モーター商協同組合理事長	高野 守夫
委員	東三河南地区公立高等学校長会代表	平松 直哉
委員	私立高等学校代表	高倉 嘉男
委員	豊橋市立小中学校長会代表	村井 正照
委員	豊橋市副市長	有野 充朗
委員	豊橋市建設部長	廣地 学
委員	豊橋市産業部次長	増田 明

■豊橋市自転車活用推進委員会 委員名簿（令和7年度）

※敬称略

役職	職名等	氏名
委員長	国立大学法人豊橋技術科学大学教授	杉木 直
副委員長	特定非営利活動法人自転車政策・計画推進機構理事長	古倉 宗治
委員	中部地方整備局名古屋国道事務所長	神田 忠士
委員	愛知県東三河建設事務所企画調整監	林 高吉
委員	愛知県豊橋警察署交通課長	木村 真司
委員	豊橋鉄道株式会社総合企画部長	山本 展靖
委員	豊鉄バス株式会社取締役運輸部長	波田 昌信
委員	豊橋商工会議所常務理事	加藤 智久
委員	一般社団法人豊橋観光コンベンション協会常務理事	大谷 政道
委員	豊橋市自治連合会理事	市原 享吾
委員	豊橋女性団体連絡会員	曾田 律子
委員	豊橋自転車競技協会副会長	堀田 伸一
委員	愛知県自転車モーター商協同組合理事長	高野 守夫
委員	東三河南地区公立高等学校長会代表	鈴木 真紀
委員	私立高等学校長会代表	伊藤 貴章
委員	豊橋市立小中学校長会代表	大矢 薫
委員	豊橋市副市長	島村 喜一
委員	豊橋市建設部長	山本 高敬
委員	豊橋市産業部次長	大林 均世

(2) 用語集

あ

IoT

Internet of Things の略。建物、電化製品、自動車、医療機器など、多種多様な「モノ」がインターネットに接続することによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称。

ICT

Information and Communication Technology の略。情報・通信に関連する技術の総称。これまで使われてきた「IT (Information Technology)」にコミュニケーションが具体的に表現されている。

安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン

平成 23 年度の有識者による検討委員会の提言を踏まえ、各地域において、道路管理者や都道府県警察が自転車ネットワーク計画の作成や通行ルールの徹底等を進めるため国土交通省道路局及び警察庁交通局により策定されたもの。平成 24 年 11 月 29 日道路管理者、都道府県警に発出。平成 28 年改訂。

え

エコ通勤

従業員の交通手段が、クルマから電車やバス・自転車・徒歩等に、自発的に転換することを促す、事業所主体の様々な取組。

SDGs

Sustainable Development Goals の略。2015 (平成 27) 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記された、2016 (平成 28) 年から 2030 (令和 12) 年までの国際目標。

SDGs 未来都市

SDGs の達成に向けた優れた取組を内閣府に提案し選定された都市 (自治体)。本市は「豊橋から SDGs で世界と未来につなぐ水と緑の地域づくり」を提案し、2019 (令和元) 年度に選定された。

き

居住誘導区域

一定のエリアについて人口密度を維持することにより、生活サービスや地域コミュニティが持続的に確保されるよう、居住を誘導する区域。豊橋市立地適正化計画で定められている。

け

健康経営

従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること。

こ

交通結節点

異なる交通手段 (場合によっては同じ交通手段) を相互に連絡する乗り換え・乗り継ぎ場所あるいは施設。

サイクルアンドライド

最寄り駅等まで自転車を使い(=サイクル)、駅などに近接した駐輪場に駐輪し、鉄道駅などの公共交通機関に乗り換えて(=ライド)、目的地まで行く方法。

サイクルツーリズム

「サイクリング・自転車」と「観光・旅行」を組み合わせたものであり、自転車に乗りながら、地域の自然や地元の人々、食事や温泉といったあらゆる観光資源を五感で感じ、楽しむことを目的とした観光事業・観光旅行。

散走

自転車で走ることを主眼に置くのではなく、それに伴う食事や風景、歴史・文化など楽しんで散歩感覚で気軽に自転車で走ること。

シェアサイクル

自転車を複数人で共同利用するサービス。地域内に設置された複数の自転車の貸出し・返却拠点(シェアサイクルポート)において、誰もが手軽に自転車を貸出し・返却できる交通手段のこと。

市街化区域

都市計画法に基づく都市計画区域のうち、市街地として開発・整備する区域で、すでに市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。

自転車専用通行帯

道路交通法第20条第2項の道路標識により、車両通行帯の設けられた道路において、普通自転車が通行しなければならない車両通行帯として指定された車両通行帯。

自転車道

道路構造令第2条第1項第2号に規定される。専ら自転車の通行の用に供するために、縁石線又は柵その他これに類する工作物により区画して設けられる道路の部分。

自転車保険

自転車搭乗中の事故における怪我の補償や、相手に怪我を負わせた場合の損害賠償に備えることのできる保険。

新型コロナウイルス

コロナウイルスの一種。コロナウイルスには、「重症急性呼吸器症候群(SARS)」や2012年以降発生している「中東呼吸器症候群(MERS)」ウイルスなどが含まれる。新型コロナウイルスは、一般的に飛沫や接触で感染する。

スポーツツーリズム

スポーツ観戦やスポーツイベントへの参加などを目的とした旅行及びそれに伴う周辺観光のこと。また、これらを活用し地域の交流促進や経済活性化を目指す取組。

生活習慣病

食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒等の生活習慣が、その発症・進行に關与する疾患群。

た

太平洋岸自転車道

千葉県銚子市から神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県の各太平洋岸を走り、和歌山市に至る延長 1,400km の自転車道構想。

と

都市機能誘導区域

商業・医療・福祉等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導し集約することにより、これらの各種サービスの効率的な提供を図る区域。豊橋市立地適正化計画で定められている。

豊橋市立地適正化計画

都市再生特別措置法に基づき、人口減少や高齢化等に対応し持続可能な都市経営を行うために策定するもの。居住機能や医療・福祉・商業等の都市機能の立地、公共交通幹線軸の形成等に関する包括的なマスタープラン。

は

パーソントリップ調査

person（人）の trip（ある目的のため出発地から到着地まで移動すること）に関する調査のことをいう。

「どのような人が、いつ、どこから、どこへ、どんな目的で、どのような移動手段を使って移動しているかのデータを把握し、多様な交通手段の利用実態の定量的な把握、将来の交通量の予測、今後の都市交通施設の整備・運用方針の検討などの基礎資料として活用される。

ほ

ポタリング

自転車等であちこちを気楽にぶらつくことを意味する和製英語。

豊橋市自転車活用推進計画 2021 – 2030

令和3年3月 策定

令和8年3月 改訂

発行◎豊橋市

編集◎豊橋市都市計画部都市交通課

〒440-8501 愛知県豊橋市今橋町1番地

電話：0532-51-2621